

平成27年8月度 安全衛生委員会 (転倒事故防止:ワークシューズと長靴のすり減り具合の確認)

◆取り組む背景

- ・ワークシューズと長靴の靴底がすり減ってしまうと、滑り止め効果が無くなってしまいます。
- ・夏休みは、忙しくて、つい走ってしまい、滑ってケガする可能性が高い時期です。
- ・転倒は、打ち身、捻挫で済まず、大きなケガになることがあります。
(フライヤーに手を突っ込んで大やけど、腰や手を打って骨折など)
- ・摩耗度をチェックして、必要があれば、交換して下さい。

社員	約3~4カ月
社保適用スタッフ	約4~6カ月
雇用保険スタッフ	約8~10カ月
一般	約1年

(あくまで目安なのでスリップサインで確認して下さい)

交換のタイミング = すり減り具合の確認

<ワークシューズ>

靴底の3か所の「スリップサイン」の内、
2ヶ所以上がすり減っていたら、
交換して下さい

スリップサインのチェックポイント



<長靴>

溝が消えてしまっている部分があったら、
交換時期です

◎ 使用可能な長靴



× 使用禁止の長靴



転倒事故防止のために
次のことにも注意!

- ・キッチンやホールでは
走らない!
- ・マットに
めくれ、浮きがない
- ・通路は通りやすいように
片付けられている

8月の安全衛生委員会議事録提出は、**8月25日**となっております。